日刊木材新聞
発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木234
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
https://jfpj.jp/
eメール info@m-mokuzai.com
購読料 1カ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2023
本紙の無断複製(コピー・PDF)記事は、著作権の侵害にあたり違法です。

新しい木の時代へ
Kick off
木材建材ウイクリー
Japan Lumber Reports
電子版

工場跡地にテーマパーク構想

トーセン

脱炭素と地方創生で森林資源活用

トーセン(栃木県矢板市、東泉清寿社長)は、2018年に生産を終了したシャープ栃木工場(矢板市)の跡地約7万3000坪を取得し、森林資源を地域完結型で利用する「脱炭素と地方創生」のテーマパークを建設する。既存の建物の一部を活用し、同社が製材工場、別の事業者がバイオマス発電施設を整備。残る建物は、発電する電力、生産する熱エネルギーの利用を条件に、トーセンの理念に賛同する他の企業に貸し出す。丸太を100%付加価値利用し、脱炭素社会の推進につなげるとともに、シャープなき後の地域経済に活力を取り戻す。

同社は取得した建屋のうち、1万5000～2万坪を活用し、製材工場を整備する。計画する原木消費量は年間12万立方㍍。省力化、効率化された製材機械は25年春を予定し設備を導入し、24～38㌶の杉丸太から杉KD平角を中心に生産する。平角は長さ3、4㍍、柴せい150～240㍍の8種類に絞り、機械等級区分JASとして出荷する。計画・製材工場の第1期稼働は25年春を予定している。

トーセングループの生産・加工・流通拠点は栃木県を中心に群馬、山形、新潟、千葉の各県に30カ所あり、原木消費量は製材用が30万立方㍍、バイオマス燃料用が12万立方㍍の合計42万立方㍍に上る。杉、桧の製材、集成材で大半の部材を生産しているが、これまで平角だけは本格的に生産してこなかった。

同社は住宅市場が縮小するなか、既存の製品の販売拡大は難しいと判断。これまで国産材のシェアが小さかった横架材市場を開拓して、需要の裾野を広げることを目指す。製材のほか、バイオマス燃料用チップ、パレットも生産する。

使用する原木の半分は地域の森林組合などとの随契で直接仕入れる計画。工場の新設によって原木消費量は拡大するが、グループの既存の工場の生産を調整することで極端に大きくは増やさない考え。

バイオマス発電施設は拡大するが、グループの既存の工場の生産を調整することで極端に大きくは増やさない考え。

バイオマス発電施設は発電出力2000㌔以下となる機械で、発電した電力、生産した熱エネルギーはテーマパークに販売する。購入する企業はバイオマスエネルギー利用によって脱炭素社会への貢献度をアピールできる利点があり、既に複数の企業から引き合いがあるという。

トーセンは、約10万坪の工場跡地のうち、シャープが売り出した跡地のすべてを単独で取得した。「人と相談しながらではなく、この指止まれ、で進めなければ事業のスピード感が失われる」(東泉社長)と考えたためで、地域完結型森林資源利用の新たなビジネスモデルの構築を目指す。

東泉社長は「無人化、省力化で製材コストを下げ、チップなどの複製品を遠方まで運ばず、磨で消費できれば製材工場は成り立つ。シャープのように撤退した工場の跡地は全国各地にある。森林資源を有効活用し、地域が豊かになり、地方創生につながる地域完結型テーマパークのモデルケースを作りたい」と話す。

トーセンが取得したシャープの栃木工場跡地

セキホームを子会社化

ヤマダホームズ

ヤマダホームズ(群馬県高崎市、清村浩一社長)は、セキホーム(富山市、関口学社長)の全株式を取得し、10月31日付で完全子会社化した。

セキホームは注文住宅を主力とした住宅会社。2023年7月期の売上高は9億6000万円。

ヤマダホームズは、セキホームを軸として富山県でのシェア拡大を図る。ヤマダホールディングスグループとして進める「戦略の下、家具家電販売や住宅ローンなどの金融面も含め、総合的価値を提供するサービスを展開する。

林野関係16氏が黄綬

経産省関連で鶴見氏

秋の褒章

政府は3日付で2023年秋の褒章を発令する。林野関係は、業務に精励して国民の模範である人物へ与えられる黄綬褒章で6氏が受章する。

受章者は次の各氏。

◇黄綬褒章=▽島津浩之(大阪府、中田木材工業社長、62歳)▽田中裕(青森県、林業、69歳)▽谷村清重(山口県、林業、84歳)▽長倉良守(宮崎県、元長倉樹苗園社長、63歳)▽横本吉兄(大阪府、林業、77歳)▽藤田利幸(京都府、林業代表者、74歳)

経産省関連では黄綬褒章を鶴見哲氏(愛知県、鶴弥社長、57歳)が受章する。

喜びの声

地域、業界活動に尽力

島津浩之氏

まだ実感が湧かないが、極めて名誉なことだ。周りの皆さんのおかげだと感謝している。また、新型コロナ対策が緩和されたなか、天皇陛下への拝謁が行われることは本当にうれしい。

私は大阪の中田木材工業で、広葉樹のフローリング材や家具材の販売を手掛けてきた。今ではホームセンターに売っている木質建材があれば十分と考える消費者も多いが、ムクの材を扱う業者としては、もう少しムクの材を使う人が増えれば良いなと思う。

今回の受章は、還暦を過ぎてもうやりたいことはやり尽くしたと考えていたなかでの栄誉だ。これを機に、個人や団体の一員という立場から地元・林地域や木材業界の活動にいま一度力を尽くさなければならないと強く感じている。

(喜びの声は8面にも)

主な記事
▽2面　広島県木連の満面会　県産材で銘行支店木造化
▽3面　広葉樹商況　為替動向次第の引き合い
▽4～7面　合板の日特集(下)

造作用集成材も
JAS製品で
TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tec.com

国産材杉・枕木ポッポ®
JAS認定工場
好評発売中
佐々木木材防腐株式会社
群馬県前橋市下大島町577の2
TEL027(266)1324

唐松集成材「信州唐松丸」/ 湾曲材
耐火集成材 / 特殊木質建築物
技術でつなぐ木のみらい
齋藤木材工業株式会社
〒366-0803 長野県小地郡長和町古町4294
営業本部: TEL0268 68 4822/FAX0268 68 3807
mail:sales@saito-mokuzai.co.jp
https://saito-mokuzai.co.jp/

株式会社東京木材相互市場
第36回 オール相互木材まつり
ALL SOHGO
MOKUZAI FESTIVAL
2023
11月9日(木)
10時 開市
会場：相互筑波市場　茨城県つくば市東光台5-3
TEL 029-847-4118
● 筑波市場問屋による優良木材 鯛りコーナー
● 各市場・センターから、所属問屋と直営事業部が一堂に集結
● 筑波銘木市場による銘木半製品 鯛りコーナー